

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 2023年度特別講演会  
自動車関連技術講演会 –空飛ぶクルマの開発最前線–

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて2023年度特別講演会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

記

<全体概要>

これまで空想の世界のものであった「空飛ぶクルマ」は、今や数年以内に商用化される段階にきています。本講演会では、「空飛ぶクルマ」開発の現状と課題について、トピックとして「機体設計～認証」「電池開発」について3件の講演をいただきます。

- ◆日時 2024年2月13日(火) 14:00～16:40 (懇談会:～17:50)
- ◆開催方式 会場開催(リアル開催)のみ
- ◆会場 AP名古屋 8階 B+Cルーム (懇談会:同6階P+Qルーム)  
(愛知県名古屋市中村区名駅4-10-25 名駅IMAIビル)  
アクセス: <https://www.tc-forum.co.jp/ap-nagoya/access/>
- ◆定員 50名
- ◆参加費 無料
- ◆申込期限 2024年1月31日(水) (定員に達し次第締め切り。)
- ◆申込方法 下記申込フォームから参加登録を行ってください。登録後に受付完了のメールが送信されます。(アクセスができない場合は、下記協会事務局へ E-mail でお問い合わせください。)
- ◆申込フォーム <https://forms.office.com/r/ZNCG3DtgBX>



■プログラム

–14:00～14:50 (質疑応答含む)

講演① 「空飛ぶクルマ開発の課題と将来展望」

産業技術総合研究所 インダストリアル CPS 研究センター フィールドロボティクス研究チーム

主任研究員 岩田 拓也氏

【要旨】

自動車を生産できる国とできない国があることと、F1で勝てる国と勝てない国があることは、それぞれに理由があり、今後空飛ぶクルマを製造できる国とできない国、使える国と使えない国に分かれていく。日本が将来製造も使用もできる国になるための社会構造について解説する。

–14:50～15:40 (質疑応答含む)

講演② 「飛翔体電源としての軽量リチウム硫黄電池の開発」

関西大学 化学生命工学部 教授 石川 正司氏

【要旨】

電動航空機などの飛翔体の電源として、軽量の蓄電池が求められている。リチウム硫黄電池は、理論上、最軽量の密閉型蓄電池である。本講演では、リチウム硫黄電池を中心とした、軽量電池の開発状況について解説する。

－15:40～15:50 ー休 憩ー

－15:50～16:40（質疑応答含む）

講演③ 「エアモビリティの設計とイノベーションマネジメント」

株式会社スカイワード・オブ・モビリティーズ 代表取締役社長 松橋 雅彦 氏

【要旨】

現在様々な運用と形態のエアモビリティ（ドローン、空飛ぶクルマ）が開発されている。これらエアモビリティについて、既存の航空機との比較から、何が大きな課題としてあるか、課題にどう対処しうるかを紹介する。

－16:50～17:50

懇談会（立食形式のフリーディスカッション）

【お問い合わせ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局

〒463-8560 名古屋市守山区桜坂四丁目 205 番地

国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター産学官連携推進室 内

電話 052-736-7370 / FAX 052-736-7403

E-mail [M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp](mailto:M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp)

以上